

問8 地方部、特に廻峠地域のような交通が不便な地域では、今後50年間では割以上の人口減少が予測されています。

このような地域では、長い歴史を有する山間部の集落が多数消滅していくことが懸念されています。あなたは、このような集落が消滅していくことについて、どのような方向で対応するべきだと思いますか
(n=27259)

地域の伝統文化や森林・農地を守るためにも、集落が維持できるように積極的な対策をとるべきだ	37.3%
集落が消滅するのは避けられないが、そこに人の暮らしがある限り、住民の暮らしを支えるべきだ	43.1%
生活の維持が困難になった集落に対しては、公的な支援をしてでも移転を促	8.1%
住民個人の問題であり、特に対応する必要はない	8.0%
特に関心はない	3.6%
	100.0%

問9 地方における大幅な人口減少に伴って、今後、森林・農地をはじめとする国土が荒廃することが懸念されています。こうした中では、防災や環境など、森林や農地がもつ多面的な機能が損なわれるおそれがあります。あなたは、このような国土の荒廃を防ぐために、以下のような活動が行われているとしたら、どのような活動に参加したいと思いますか
(n=27259)

	既に参加している	参加したい	どちらかといえば参加したい	どちらかといえば参加したくない	参加したくない
休日などを使って、例えば里山などの森林や農地の管理作業を手伝うボランティア活動に参加する	1.2%	17.3%	39.6%	28.3%	13.6%
労力としては貢献できないが、森林や農地を守る活動をしているNPOなどに対して寄付などの資金面で協力する	1.8%	15.8%	43.4%	26.2%	12.8%
労力としては貢献できないが、国産品を積極的に購入して間接的に日本の森林や農地を守ることに貢献する	6.9%	31.0%	44.1%	11.5%	6.5%

問10 生活ニーズの多様化が進み、「自分たちの暮らしは自分たちでつくりたい」という考え方が広がってきています。このような中、地域社会での暮らしに関わる社会的サービス(福祉、医療、教育、防災、廃棄物処理など)の提供に、行政のみならず、NPOや地域コミュニティが大きな役割を果たすようになってきました。あなたは、あなたが住む地域で以下のようなNPOやコミュニティの活動が行われているとしたら、どのような活動に参加したいと思いますか。

(n=27259)

	既に参加している	参加したい	どちらかといえば参加したい	どちらかといえば参加したくない	参加したくない
高齢者や障害者などへの福祉活動を行うボランティアに参加する	3.3%	15.5%	41.4%	28.8%	10.9%
消防団や防犯ボランティアなどの地域の安全を守る活動に参加する	2.8%	13.8%	41.5%	31.8%	10.3%
地域での良好な景観や環境づくりのため、公園や河川敷の清掃などに積極的祭りを始めとする地域を活性化させるイベントなどの手伝いをする	3.7%	21.4%	44.9%	21.8%	8.2%
図書館や児童館などの運営や、公民館などの地域の公的施設の管理運営にボランティアとして参加する	2.6%	26.9%	42.2%	20.5%	7.8%
労力としては貢献できないが、地域で活動しているNPOなどに対して寄付などの資金面で協力する	1.9%	14.4%	42.3%	27.6%	13.9%

問11 東アジア経済が急速に成長していますが、このような東アジアと我が国が連携・交流を進めるためには、今後、何に力を入れるべきだと思いますか。あてはまるものを全てお選びください。

(複数回答可:最大100%)

航路や航空路線などの東アジアとの交通ネットワークの充実	34.7%
東アジアからの留学生などの多様で優秀な人材の誘致	35.5%
東アジアからの観光客の積極的な誘致	31.2%
東アジアとのビジネス交流の充実	51.3%
東アジアの環境・都市問題への協力	38.2%
そもそも東アジアと我が国が連携・交流する必要はない	8.2%

＜問い合わせ先＞
 国土計画局総合計画課
 担当：駒田（内線 29377）
 TEL：03-5253-8111（代表）
 03-5253-8356（直通）
 FAX：03-5253-1570

「2030年の国土と生活の将来ビジョンに関するアンケート」の結果について

国土交通省では、現在、国土形成計画の策定を進めているところです。計画の策定にあたり、国土と国民生活の将来像に対する国民の皆様の意識をお伺いするため、平成18年3月にインターネットを活用した大規模な意識調査「2030年の国土と生活の将来ビジョンに関するアンケート」を実施しましたので、その結果を公表します。

1. アンケートの概要

調査実施期間：平成18年3月14日～22日

調査方法：インターネット調査サービス「gooリサーチ」によるwebアンケート

有効回答数：27,259件

回答者の主要な属性

(1) 性別 男性：48.3% 女性：51.7%

(2) 年齢

-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳-
2.2%	23.1%	39.9%	24.2%	8.0%	2.1%	0.5%

2. 主な調査項目の結果概要

- 将来（2030年前後）住みたい地域を尋ねたところ、現在と同じような地域という回答が多いものの、現在の居住地域の構成比と比べると、将来住みたい地域は「地方の町村」や「地方の中核都市（札幌市など）とその周辺」という回答が高くなっている。特に、40歳代以上では、「地方の町村」に将来住みたいという回答が高くなっており、退職後は「地方の町村」に住みたいという願望が伺える。
- 2030年の社会・国土のイメージを尋ねたところ、「治安が確保された社会」や「災害に強い国土」が「ぜひ実現して欲しい」という回答が、約8割にのぼっており、安全・安心に係るニーズが高いことが伺える。
- 山間部の消滅の危機にある集落に対する意識を尋ねたところ、「集落消滅は避けられないが、そこでの住民の暮らしは支えるべき」という回答が43.1%、「集落が維持できるように積極的な対策をとるべき」という回答が37.3%となっており、都市・地方問わず集落の維持やそこでの住民への生活支援に対する支持が伺える。
- 国土管理や地域社会に関わる諸活動（9項目）への参加意識を尋ねたところ、いずれの活動についても5割を超えており、特に、60歳以上の参加意識が顕著となっている。活動別に見ると、「地域の公的施設の管理運営」や「地域での良好な景観や環境づくり」への参加意識は、7割近くに達している。

アンケート調査の結果についての詳細は、別添をご覧ください。

「2030年の国土と生活の将来ビジョンに関するアンケート」の結果について

国土交通省国土計画局

1. アンケートの概要

調査実施期間：平成18年3月14日～22日

調査方法：インターネット調査サービス「gooリサーチ」によるwebアンケート

有効回答数：27,259件

2. 回答者の属性 ()内は回答数

(1) 性別 男性：48.3%(13,175) 女性：51.7%(14,084)

(2) 年齢別

-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳-
2.2%	23.1%	39.9%	24.2%	8.0%	2.1%	0.5%
(600)	(6,305)	(10,882)	(6,590)	(2,175)	(575)	(132)

(3) 居住地域別

北海道	東北	関東	北陸	中部	近畿	中国	四国	九州	沖縄
5.4%	7.0%	48.7%	1.5%	10.5%	14.4%	4.2%	2.1%	5.6%	0.5%
(1,474)	(1,912)	(13,268)	(422)	(2,875)	(3,929)	(1,132)	(583)	(1,540)	(124)

注) 地域区分は、第5次の全国総合開発計画「21世紀の国土のランドデザイン」による。

(4) 居住地域の都市規模別

東京23区	12.8%(3,484)
上記以外の東京圏(東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県)	31.0%(8,444)
大阪市、京都市、神戸市、名古屋市	6.5%(1,767)
上記以外の近畿圏(大阪府・京都府・兵庫県・奈良県)、中部圏(愛知県・三重県・岐阜県)	14.0%(3,816)
地方の中核都市(札幌市、仙台市、静岡市、広島市、北九州市、福岡市)とその周辺	8.6%(2,345)
上記を除く地方の中核都市(県庁所在都市及び人口30万人以上の都市)とその周辺	10.5%(2,855)
上記を除く地方の中小都市	11.0%(3,009)
地方の町村	5.7%(1,539)

(5) 職業

農林・漁業・商工の自家営業（家族従業員を含む）	4.1%(1,128)
自由業（開業医、芸術家など）	2.7%(730)
管理職（会社社長、団体役員、局長、部長など）	5.4%(1,465)
事務職（課長以下の事務系・技術系職員、教員など）	32.9%(8,977)
販売・サービス・技能職（運転手、職人、工員、セールスマンなど）	12.9%(3,511)
アルバイト・パートタイム	10.6%(2,897)
専業主婦・主夫	17.8%(4,863)
学生	6.6%(1,785)
無職	4.2%(1,152)
その他	2.8%(751)

(6) 現在の生活の満足度

満足している	5.5%(1,507)
どちらかといえば満足している	40.9%(11,145)
どちらかといえば満足していない	35.0%(9,545)
満足していない	18.6%(5,062)

3. 調査結果の留意点

web アンケートの特性上、本調査の回答者には、以下のような特徴があることに留意する必要がある。

- ・本調査の回答者の年齢構成は、実際の人口に比べて、「20-29 歳」、「30-39 歳」、「40-49 歳」の各年代が特に多くなっている。
- ・本調査の回答者の居住地は、実際の人口に比べて、関東地方の居住者が特に多くなっており、その中でも特に東京圏（東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県）の居住者が多くなっている。